幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2022年2月度　定例会

日　時　　2月21日（月）　13：30～
会　場　　ウェルス幸手（第1会議室）
司　会　　ｙｓ

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）年間活動計画作成（第1会議室）
      22年度の役員選出
2. 今後の予定
   1） 3／14（月）21年度決算準備とこれからのピースについて座談会（調理実習室）
   2） 4／18（月）第16回通常総会（第1会議室予定）
3. お知らせ
   1） 健康増進課による出前講座は、コロナが落ち着いてから受けることになりました。
   2） 見守り支援ネットワーク全体会議は、コロナのため中止になりました。
   3） 1/31 の推進会議において電話傾聴が今のピースにできる唯一の活動であり、しかも好評なので、今までの個人宅の方で希望者がいれば定例会に図って善処したい。

◎1月度議事録
   1） 1月度定例会参加者　12名
   2） 「電話での傾聴」体験談発表：会員2名
      ※健康増進課による出前講座が中止となったため
   3） 「施設との話し合い」について
      12月度定例会にて担当者が各施設を訪問して状況を確認することになっていましたが1月度定例会で、電話での確認に変更しました。
   4） 定例会のレジメが社協のホームページから見ることができるようになりました。定例会を休んだ時に今後の予定が見られるのでたいへんありがたいです。

※今月のことば　「認知症高齢者へのかかわり方」より
◎「もしかして、認知症」と思ったら、どうしたらよいでしょうか？
A（協会の考え方）
物忘れが増えてきたり、失敗などが増えてきたら、また、自分でできていたことが、できなくなってきているみたい、などということがあったらまず、「早期診断、早期発見、早期治療」ということが、キーワードだと思います。その際、「認知症かもしれないから病院行って診てもらおう」といったやり方は、ほとんどの場合、ＮＧです。そう言われて「そうだね、行って診てもらおう」などという高齢者は、まず、おられないと考えた方がよいと思います。「自分は呆けてない」と言って、ともすると家族間でケンカになることもあるかもしれません。「体のことが心配だから」「それに少し物忘れもあるみたいなので、ついでに診てもらおうよ、ジーちゃんには、長生きしてもらいたいからさ」などと言いながら、近くの掛かり付け医に、一緒に行かれてはどうでしょうか？実は、実際問題として、認知症と思われる高齢者をいかに上手に病院に連れていくかということが、認知症高齢者の方々のケアの入り口の部分として、大変大切なことです。そして、認知症が疑われるのであれば、さらに精密検査をしてもらう必要があると思いますが、まず、掛かり付け医のところまで行ければ、そのあとの道のりは、比較的たどりやすいのではないでしょうか？